

製品名: p53RFP ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15651**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	RNF144B
別名	RNF144B; IBRDC2; P53RFP; E3 ubiquitin-protein ligase RNF144B; IBR domain-containing protein 2; RING finger protein 144B; p53-inducible RING finger protein
遺伝子 ID	255488.0
SwissProt ID	Q7Z419
免疫原	ヒト p53RFP の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

注意: ファミリーの保存された特徴の一つである RING 型ドメイン 2 の His 残基を欠いている。ドメイン: RING 型ジンクフィンガー

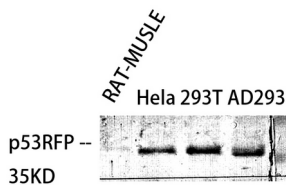
ドメインは、E2 ユビキチン結合酵素への結合を媒介する。機能: E3 ユビキチンタンパク質リガーゼは、E2 ユビキチン結合酵素 UBE2L3 および UBE2L6 からチオエステルの形でユビキチンを受け取り、LCMT2 などの標的基質に直接転移させることで、それらの分解を促進する。TP53/p53 依存性だがカスパーゼ非依存性のメカニズムを介してアポトーシスを誘導する。経路: タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。PTM: 自己ユビキチン化。類似性: RBR ファミリーに属する。RNF144 サブファミリー。類似性:1 つの IBR 型ジンクフィンガーを含む。類似性:2 つの RING 型ジンクフィンガーを含む。サブユニット:UBE2L3、UBE2L6、LCMT2 と相互作用する。組織特異性:広く発現しているが、最も低いレベルは脳、脾臓、胸腺である。注意:ファミリーの保存された特徴の 1 つである RING 型ドメイン 2 に His 残基がない。ドメイン:RING 型ジンクフィンガードメインは、E2 ユビキチン結合酵素への結合を仲介する。機能:E3 ユビキチン - タンパク質リガーゼは、E2 ユビキチン結合酵素 UBE2L3 および UBE2L6 からチオエステルの形でユビキチンを受け取り、次にそのユビキチンを LCMT2 などの標的基質に直接転送して、それらの分解を促進する。TP53/p53 依存性だがカスパーゼ非依存性のメカニズムによりアポトーシスを誘導する。経路: タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。PTM: 自己ユビキチン化。類似性: RBR ファミリーに属し、RNF144 サブファミリーに属する。類似性: IBR 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。類似性: RING 型ジンクフィンガーを 2 つ含む。サブユニット: UBE2L3、UBE2L6、LCMT2 と相互作用する。組織特異性: 広く発現しており、脳、脾臓、胸腺で最も低いレベルで発現する。

研究分野

-

画像データ

p53RFP ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



p53RFP ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析

